

令和元年 8月の園だより



お盆

ご先祖様の霊をお迎えして、供養をする行事です。この日は、亡くなった方々の魂が戻ってくるといわれています。

家族や親せきと一緒に過ごし、仏壇、お墓の前で手を合わせることは、たくさんの人々とのつながりを感じることでできる良い機会です。



立秋

(秋の気が初めて立つ)

8月8日ごろ

この日を境に秋の風が吹いてくるとい意味です。



処暑

(秋陰の気が増長し、暑気退かんとす)

8月23日ごろ

そろそろ暑さもおさまり、涼しくなるころという意味です。

～お願い～

以前もお知らせさせていただきましたが、登降園時に駐車用でお話をされている保護者の方を目にします。子どもたちが、車と接触する事故にもつながりかねません。子どもたちを守るためにも、マナーを守って頂きますよう、よろしくお願い致します。

自分で考える力を育む

昨年の豪雨災害から1年が経った7月6日(土)町内にて、犠牲にあわれた方々への追悼式典が行われました。同日、くまの・みらい保育園では、昨年中止となった「第9回夏まつり」が青空の下で犠牲者の方々へ黙とうを行い、無事に開催することができました。子どもたちも、おまつりをとても楽しみにしており、年長児さんはオープニングではちょっと緊張もしていましたが、うたいながら地域の方に教えて頂いた手話を上手に見せてくれました。微妙福祉会の職員による「エレファント・プラス」のプラスバンド演奏も子どもたちが大好きな曲ばかりで、「パプリカ」の曲が始まると、子どもたちは前に出てとても楽しそうに踊っていました。その後には盆踊りをしたり、お店も賑わい、かき氷やポテトをおいしそうに食べたりする子どもたちや、お家の方々の笑顔が溢れていました。また、お忙しい中おいでいただいた地域の方や卒園した子もたくさん来てくれました。準備から片付けまで気持ちよく動いてくださった保護者会の役員さん、そしていつも行事の時に駆けつけてくださる、保育園のOBの方々で結成されている、ソフトボールチーム「MIRAI」のお父さんと、息子さん(第1期生卒園児、高校3年生)もお手伝いをしてくださいました。高校3年生になった彼は、率先してお手伝いをしてくれており、大きくて頼もしく、逞しい姿を見せてくれていました。

開園から13年目となりますが、行事のお手伝いに、卒園児が参加してくれ、くまの・みらい保育園の保育理念の『感謝と思いやりのある、自主的な行動がとれる子』に成長していることを実感し胸が熱くなりました。至らないこともあったかと思いますが、良いお天気の中、夏まつりを無事に事故もなく、多くの保護者の皆さんのあたたかなお気持ちのおかげで、楽しく終えることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

7月1日にプール開きを行い、水あそびが始まりましたが、なかなか良い天気にならず、本格的な水あそびができない日が続いていました。そんな雨の日に年中の子どもたちが園内を「ヨーホー!!」と言いながら散歩していました。見てみると、片目を隠した子や、手作りの帽子にどくろのマークがついていたり、手作りのイヤリングや、剣や鉄砲を持っている子もいました。「海賊だぞー!!」となりきって「海賊船も作ったんよ!今度プールで乗るんよ!」と教えてくれました。今、海賊ブーム

で盛り上がり、ペットボトルをビニールテープでつなげた船作りをし、それをプールで浮かべて乗ってみたい!という目標にむかってあそびが続いているようです。お家の方も協力して下さり、ペットボトルを持って来てくれる子どももいました。先日、いよいよ海賊船を浮かべ、いざ乗船!そーっと乗って帆を握りしめ浮かぶ海賊船に乗った子どもたちは満面の笑顔でした。みんなでも乗っているとだんだん壊れてしまいましたが、遊び終えた子どもたちは満足感に溢れ、「あー楽しかったー!」とつぶやいていました。船は壊れてしまいましたがこの海賊ブームが、またどう展開していくのか楽しみです。年長組では、お泊り保育へ行って大自然の中で盛り上がりしているあそびの中から、フリスビーやブーメラン飛ばしやオリジナル野球ごっこをしよう!と目的も持ってあそび、投げ方を工夫したり、マイバットも作ったりと楽しみにしながら活動していました。

子どもたちは、あそびの中で自分で考え、友だちと協力したり、どうすればいいのか時に意見のぶつかり合いをする中で、折り合いもつけています。友だちと切磋琢磨するその姿を私たちが受けとめ、あそびが展開されるよう材料を準備したり、ちょっとヒントになる物を用意したりする環境作りをすることで、「もっとこうしようよ」と意欲的に挑戦する心が育まれていきます。「こうしたらできるよ」と、何でも親切に答えを大人が伝えてしまうと、自分で考えることなくすぐに諦めたり、大人に頼り自分で考えて判断し、行動することができない子どもに育ってしまうのではないのでしょうか。私たち保育者も、先さきに伝えるのではなく、「どうすればいいかな」と子どもたちに投げかけ、自ら考える事のできるような関わりを大切に、環境を考え『感謝と思いやりのある、自主的な行動がとれる子』に育つような、楽しい保育を職員で語り合いながら保育の質を高め合っていきたいと思っています。ご家庭でも、子どもたちが考えられる、言葉がけや関わりを持ってみて頂けたらと思います。

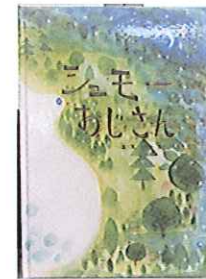
お盆を過ぎると、運動会の練習が少しずつ始まります。今年も残暑厳しい中での練習であり、開催となります。子どもたちが楽しみながら取り組めるよう、また熱中症などにならないよう、水分補給を十分に行い一人ひとりの体調の変化に気を配っていきたく思います。ご家庭でも、早寝・早起きに心がけ、しっかり朝食を摂って元気に登園できるようにしてあげましょう。

くまの・みらい保育園 主任

くまの・みらい保育園

8月のみらい文庫にも平和に関連する絵本をおいておきます。一部ですがご紹介します。

シュモーおじさん



当園でお世話になっているとこ先生が描かれた絵本です。原画は卒園した子どもたちの劇で、描いてくださいました。

へいゆつてすてきだね



沖縄在住の安里有生くんが小学1年生の時に作った詩が絵本にないました。

まちゃんと



戦争は小さな子どもたちの命も奪います。もう二度と繰り返しませんように...

ほくがラーマンたべるとき



他の絵本とは違った角度から戦争と平和について伝えてくれています。